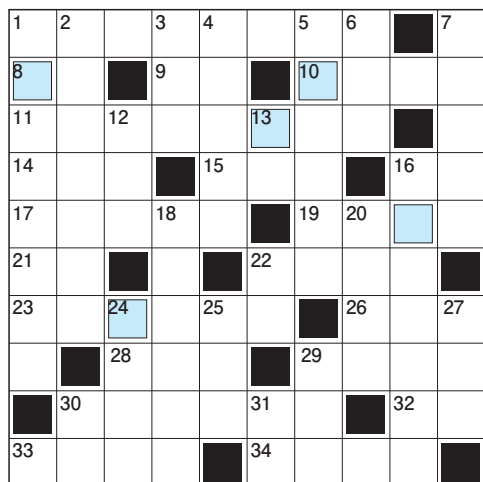


クロスワードタイム

台風の子節です。雨風がひどいときには無理をしないようにしましょう。二重枠の言葉を並び替えると答えが出ます。答え、郵便番号、住所、氏名、加盟組合、Compassの感想を記入し、はがきかメールでご応募ください。正解者の中から抽選で30名様にクオカードを贈呈します。

■×切:10月11日(金) ■宛先:mail → info@nikkenkyo.jp はがき → 〒169-0075 新宿区高田馬場1-31-16 ワイム高田馬場ビル3F 日建協クロスワード係

ヒント: メキシコや中南米が原産地。



ヨコのカギ

- 1.四季の中で、秋が、最も食欲の増進する季節であることをいう語。
8.その場で支払わないで店の帳簿につけさせておき、あとでまとめて支払うこと。
9.長い柄の先に細長い剣(穂)をつけた武器。
10.窓に近いあたり。窓のそば。
11.内閣総理大臣が、任期の途中で国務大臣の全部または大部分を入れ替えること。
14.都会から離れた地方。田畑が多く、のどかな所。
15.スタインバックの小説。ジェームズ・ディーン主演で映画化。「〇〇〇の東」。
16.父母の姉や妹。
17.コンピューターの主記憶装置として、実際に情報を記憶している半導体素子。
19.学び習うこと。新しい知識を学習すること。また、身につけた知識。
21.落語・漫才・浪曲などの大衆芸能を興行する演芸場。
22.「〇〇〇種(ぐさ)」「〇〇〇芸人」「〇〇〇タレント」。
23.そこにはいない人を話題にしてあれこれ話をする世間話。
26.出来が悪いこと。また、そのさま。
28.管理・管轄を他に移すこと。
29.大名行列で、馬や駕籠(かご)のあとに続く、調度品や小道具を入れた狭み箱。
30.子どもに聞かせる伝説・昔話など。
32.インドや中近東の平焼きパン。
33.ある人の意見や学説をそのまま他人に説くこと。
34.だんごを串(くし)にさし、軽く焼いて砂糖醤油をからめたもの。「〇〇〇〇団子」。

タテのカギ

- 1.卓球・バドミントンなど、屋内で行う運動競技の総称。
2.不必要なおせっかい。他人の助言や手助けを拒絶するときに言う。
3.前もって約束すること。
4.「反復」をわかりやすく言うこと?
5.南アメリカ大陸アンデス山脈に源を發し、ブラジル北部の大密林地帯を流れる大河。
6.肺に通じる空気の通り道。
7.江戸時代、天災地変・火事・心中などの事件を速報記事にして街頭で売り歩いた印刷物。
12.商品の価値を貨幣で表したものの。値段。
13.スキンヘッドでおなじみのたけし軍団団員。「〇〇らっきよ」。
16.昔の自分の体験・見聞を思い出してする話。
18.その場だけのことで、あとには関係しないこと。
20.手工芸品。民芸品。工芸品。
22.「〇〇が利く」「〇〇が強い」「〇〇の一手」。
24.甲子園を沸かせたプロ野球選手。ハンカチ王子といえは「〇〇〇〇ゆうき」。
25.困難な場所・場面。
27.すでに結婚していること。
29.今日の次の日。
30.「オーケストラ」の略。
31.よくも悪くもないこと。

Vol.818クロスワード 正解と当選

答えは「ナポレオン」でした。



多数のご応募ありがとうございました。次の当選者の方々にクオカードをお送りしました。

- 大塚敏子(青木あすなろ)、武田正典、守屋陽平(アサヌマ)、妹尾 聡(安藤ハザマ)、池上 剛、田頭智輝、八木智子(鴻池)、亀田恵子、小出啓剛、松本久美子(佐藤)、岩田健吾(シミズ)、加賀谷崇博、上村智雄、助川竜也(鉄建)、荒木良香、柏木美月、森口直史(東洋)、岩佐州紘、近藤幸輝、富田彬夫(飛鳥)、大沢高洋、小堀和伸(戸田)、三浦愛弥(中山)、菅原明子、濱田瑞穂(西松)、中村真紀(フジタ)、安井敏夫(松村)、伊庭智美(三井住友)、岡本雅世、田中和彦(横河ブリッジ) <敬称略>

編集後記

今年度の日建協定期大会が8月1日・2日、猛暑の東京・日暮里にて開催され、全国から加盟組合代表の皆さんに参加いただき2日間にわたって審議・討議を行いました。

定期大会前から「今、日建協は何をなすべきか?」「日建協に何ができるのか?」など自分としても漠然とは考えていましたが、大会期間中に寄せられた加盟組合の皆さんからの意見や要望をお聞きして、あらためて問題提起だけではなく実際に出来る事を考えて実行していかなければならない、という気持ちを強くしました。

日建協は、新たな体制で2019年度のスタートを切りました。1つでも多くの成果を残せるよう日建協執行部一同頑張ります。

今後も機関誌「Compass」を通じて皆さんの組合活動に少しでも役に立つ情報を発信していきます。皆さんからも忌憚の無いご意見をお待ちしております。

筋い

かつてある経営者から「ゆでガエル」の話聞いたことがある。カエルを熱湯が入った鍋に落とすと、熱さに驚いて鍋から飛び出す。しかし常温の水に入れて徐々に熱すると、その温度変化に慣れていき生命の危機と気づかず、ゆであがって死んでしまう。迫りくる危機や変化に気づかず手遅れになる、という例えだ。

思い起こせば40を過ぎてからの私の生活は、まさに「ゆでガエル」だったのかもしれない。「あっ!パパだ!」。結果にコミットするダイエットのCMが流れ、メタボ体型でいかにも疲れ果てた中年おじさんが画面に登場すると、必ず指をさす小学生の息子。そうした家族からのいじりや忠告を受け流し、当時の食生活は乱れていた。

そんな私の転機は1年前。なんとなく体がだる

くて重い。人間ドックを受診したら血圧数値が高い。医師から生活を改善するように、と指導された。「このままではいかん!」体に自覚症状も出てきたことから危機感を覚え、塩分を控え野菜を多く食べるとともにジョギングを始めた。

高血圧は、「サイレントキラー」と呼ばれ、すぐには病気を発症しないが、その状態が長く続くと脳卒中や心筋梗塞を発症する危険性が高まる。作業所で働く同年代の同僚たちから、健康診断の数値が良くない、との話を多く聞くようになった。建設産業で働くミドル層の皆さん、現場のKYだけじゃなく、建設産業に忍び寄る新たな危機も予知しよう。人も組織も「ゆでガエル」になる前に。

(カエル!OJISAN)

